

主管課	生活安全課	一 般 会 計					
		款		項		目	
		2	総務費	1	総務管理費	16	市民相談費

事業の主な内容及び成果

【市民相談事業】

担当職員が年間を通して行う市民相談のほか、行政相談委員3人による行政相談(25回)、人権擁護委員7人による人権相談(24回)、駿河台大学教授による無料法律相談(5回)を実施した。

○市民相談：190件

○行政相談：19件

○人権相談：18件

○駿河台大学教授による無料法律相談：25件

【消費生活対策事業】

○消費生活相談状況

- ・消費生活相談の内容は多岐にわたっており、複雑化しているため、よりの確かつ迅速に処理した。

○相談体制の整備

＜消費者行政活性化補助金の活用＞

- ・相談窓口の開設を週5日とし、相談体制を充実させた。

苦情	問合せ	要望	合計
件	件	件	件
380	69	0	449

○消費者啓発

＜消費生活教室の開催＞

- ・消費者被害を未然に防止し、消費者トラブルの事例やその対処法についての認識を深めるため、消費生活教室を実施した。(実施回数2回 参加者数33人)

講座名	開催場所	参加人数
くらしの中の消費者トラブル	飯能市役所	人 12
高齢者は狙われている！－手口と対処法－	東吾野地区行政センター	21

＜消費者行政活性化補助金の活用＞

- ・消費者教育の強化を図り、消費者被害の未然防止につなげるため、小・中学生向けの冊子を作成し各学校へ配布した。

事業の主な内容及び成果

○消費者団体への補助金の交付

- ・「飯能市くらしの会」、「飯能市消費者団体連絡会」に補助金を交付した。

主な事業内容

「飯能市くらしの会」：視察研修、勉強会、講演会参加

「飯能市消費者団体連絡会」：学習会、映画会、会報発行、講演会参加

主管課	生活安全課	一 般 会 計					
		款		項		目	
		2	総務費	1	総務管理費	19	交通安全対策費
事業の主な内容及び成果							
【交通安全施設整備事業】 道路反射鏡12基、防護柵26.7m、注意看板47枚を設置したほか、路面標示工事を行った。 また、既設の交通安全施設の修繕や道路照明灯5基をLEDへ付け替えるなど、市内の交通安全施設の充実に努めた。							
区 分		事 業 内 容				事 業 費	
工事請負費		路面標示工事ほか7件				円 9,758,880	
修繕料(施設)		道路照明灯球切れ、道路反射鏡面交換等				6,932,466	
【自転車等放置防止対策事業】 駅周辺の放置自転車の指導や整理を関係機関及び関係団体の協力を得て行った。 放置禁止区域等からの放置自転車等を413台撤去した。							
【交通安全啓発事業】 ○街頭指導 交通安全指導員が、児童の登・下校の指導を行ったほか、歩行者(特に子どもと高齢者)の保護及び誘導並びに自転車利用者の交通指導を行った。 ○交通安全運動 関係団体及び関係機関の協力を得て、春、夏、秋、冬に交通安全運動を実施し、運動期間中の統一行動日には街頭キャンペーンを行いドライバーに安全運転を呼びかけた。 ○交通安全教育 保育所、幼稚園等の幼児、小学校の児童に模擬信号機等を利用した正しい歩き方、正しい自転車の乗り方等の安全教育を実施し、高齢者に講話と映画を主とした安全教育を実施して、正しい交通ルールを周知した。新規で、外国人を対象とした自転車の乗り方教室を実施した。 また、高齢者を対象とした安全運転競技会や市民を対象とした自動二輪車・原動機付自転車の安全運転講習会を開催した。							
対 象 者		事 業 内 容		回数	参加人数		
保育所・幼稚園等・小学生1.2年生		正しい歩き方		回 33	人 2,439		
小学生3～6年生		自転車の乗り方、点検の仕方		20	1,569		
高齢者		交通安全講話、交通安全映画		15	395		

事業の主な内容及び成果

【公共交通対策事業】

○地域公共交通施策の推進

飯能市地域公共交通基本計画に基づき、交通施策の推進を図った。

○飯能市地域公共交通連絡会の開催

本市の地域公共交通の現状と課題や、飯能市地域公共交通対策協議会（法定協議会）の設置について説明するとともに、意見交換を行った。

○第1回飯能市地域公共交通対策協議会（法定協議会）の開催

各々の地域における公共交通に関する諸課題の解決を目的として、飯能市地域公共交通対策協議会を法定協議会として設置し、第1回目の会議を開催した。

○飯能市バスルートマップの改訂

バス路線をわかりやすく見せるための取組を推進するため、国際興業バス・西武バス・イーグルバスの3社共通の飯能市バスルートマップを改訂し、10,000部作成した。

○バスの乗り方教室の開催

小学生が路線バスの乗車方法、料金表の見方や支払方法、バスの死角などを学習することにより、バスに乗車する不安を取り除くとともに、公共交通の利用促進を目的としてバスの乗り方教室を実施した。

○市民懇談会の開催（市内13地区行政センター）

地域住民の方に地域公共交通の現状や課題を理解していただくとともに、地域、交通事業者、市が一緒になって、これからの地域公共交通のあり方等を考えていくスタートとして市内全地区で市民懇談会を開催した。

「これからの地域公共交通のあり方に関する市民懇談会」開催実績

開催期日	会場	参加者数	開催期日	会場	参加者数
11月25日（金）	加治東地区行政センター	20人	12月10日（土）	南高麗地区行政センター	20人
12月3日（土）	双柳地区行政センター	12人	12月10日（土）	美杉台地区行政センター	13人
12月3日（土）	富士見地区行政センター	11人	12月15日（木）	吾野地区行政センター	32人
12月6日（火）	東吾野地区行政センター	15人	12月17日（土）	名栗地区行政センター	26人
12月7日（水）	精明地区行政センター	16人	12月17日（土）	原市場地区行政センター	26人
12月8日（木）	飯能中央地区行政センター	12人	12月17日（土）	加治地区行政センター	16人
12月10日（土）	第二区地区行政センター	33人	計		252人

【バス路線確保対策事業】

地域住民から要望されている乗合バス路線を維持確保するため、湯の沢線、間野黒指線、中藤・中沢線、名栗車庫線について、路線ごとの収支に基づき、バス事業者に対して補助金を交付した。

【交通関連団体支援事業】

・八高線八王子・高麗川間複線化促進協議会、JR川越線整備促進協議会、八高線電車化促進期成同盟会に参画し、JR東日本株式会社に整備促進等の要望を行った。
・交通安全運動を推進する飯能地方交通安全協会、飯能市交通安全母の会に対し、補助金を交付した。

主管課	生活安全課	一 般 会 計					
		款		項		目	
		2	総務費	1	総務管理費	21	諸費
事業の主な内容及び成果							
【地域安全推進事業】 ○防犯パトロール用品の貸与 ・帽子・ベスト・ジャンパー等を購入、各自治会やPTA等へ貸与し、防犯活動の支援に努めた。 (合計80団体に貸与) ○防犯灯の設置・撤去等 ・防犯灯17灯(LED)を新規設置し、移設6灯、ポール柱建替え1灯、撤去3灯の工事を実施した。 ○防犯啓発活動 ・職員による青色回転灯装着車での防犯パトロールを実施した。(29回、延べ58人参加) ・飯能警察署、自治会等と協力し、飯能駅前周辺で防犯キャンペーンを実施した。(6回) ・市メール配信サービスや市ホームページで市内の犯罪情報を発信した。 ○防犯教育活動 ・飯能警察署、埼玉県警等と協力し、防犯出前講座を実施した。(52回、延べ1,561人参加)							